広島オーストリア協会

会報 No.41

平成30年4月30日発行
編集・発行／広島オーストリア協会
〒730-8552 広島市中区白島北町19番2号
広島ホームテレビ 総務局内
TEL(082)221-4964　FAX(082)221-4905

創立30周年記念号

プラーター公園　伝統的な遊園地、映画「第三の男」で名高い大観覧車は、ウィーンの代表的なシンボルのひとつ

ご　挨　拶

広島オーストリア協会 会長
大辻 茂

会員の皆様方には、平素より広島オーストリア協会の活動に、ご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年度の広島オーストリア協会は、5月に「年次総会」、8月には「講演会・ビアホールの会」、12月には「クリスマス例会」、3月には「ケーキと音楽を楽しむ会」等のイベントで、年間を通じて多くの会員の皆様にご参加いただき、賑やかな社交の場となりました。

皆様のご支援の元、広島オーストリア協会も今年で30年の節目の年を迎えます。昭和63年に広島の音楽関係者を中心にオーストリアの文化を学び、国際平和都市広島との友好を深めようと「広島オーストリア友好協会」が結成され、翌、平成元年に広島総合銀行(現もみじ銀行)に事務所を置いてスタートしました。その後、平成14年に広島ホームテレビに事務局が引き継がれています。

さらに来年は、日本とオーストリアの間で修好通商航海条約が締結されてから150周年を迎えます。当時のこの条約は、日本にとって不利な内容が含まれた不平等条約だったそうですが、今では日本はオーストリアにとって、アジア有数の貿易相手国となっています。又昨今では、日本食のブームが浸透しており、寿司もオーストリア人の間でも一般的となっている他、若い世代では、マンガ、アニメ、ＴＶゲーム等の日本のポップカルチャーを楽しんでいます。

節目となる年に過去の両国関係を振り返り、未来の両国関係を考えることは非常に重要なことと考えます。この会が少しでも両国の関係発展にお役に立てればと思っております。

今後とも会員の皆様にオーストリアをより身近に親しんでいただけるよう、活動の充実に努めて参ります。皆様方の力強いご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

総 会

■ 日　時　平成29年5月31日(水)　18:00~20:00
■ 場　所　ANAクラウンプラザホテル広島
■ 出席者　80人

冒頭の挨拶で大辻会長から、日本とオーストリアの間で修好通商航海条約が締結されてから2019年で150周年を迎えることが紹介され、この会が今後少しでも両国の関係発展に役立てばと述べられた。懇親会ではオーストリアのザルツブルクでの留学を終え、現在日本で活躍中の協会会員、村田星太さんのピアノ演奏でクラシック音楽を楽しんだ。

平成29年度事業報告

平成29年度理事会・総会
5月31日(水)　ANAクラウンプラザホテル広島(出席者:80人)

講演会・ビアホールの会
8月25日(金)　シェラトングランドホテル広島(出席者:94人)

クリスマス例会
12月8日(金)　リーガロイヤルホテル広島(出席者:130人)

ケーキと音楽を楽しむ会
平成30年3月3日(土)　ホテルチューリッヒ東方2001
(出席者:38人)

平成30年度事業計画

平成29年度理事会・総会
6月6日(水) ANAクラウンプラザホテル広島

講演会・ビアホールの会
8月

クリスマス例会
12月

ケーキと音楽を楽しむ会
平成31年3月

平成29年度役員(平成29年6月1日現在)

役　員	氏　名	現　職
会　長	大　辻　　茂	㈱広島ホームテレビ会長
副会長	小　嶋　泰　紀	㈱広島銀行取締役常務執行役員
	光　井　安　子	音楽家
	松　本　健　二	マツダ㈱総務・法務室長
専務理事	草　本　健　資	㈱広島ホームテレビ取締役総務局長
理　事	浅　井　幹　夫	㈱中国新聞社副社長
	伊　藤　裕　章	㈱広島ホームテレビ社長
	久　保　雅　史	広島エフエム放送㈱社長
	熊　平　雅　人	㈱熊平製作所会長
	小　林　即　典	(公財)ひろしま国際センター専務理事
	小　溝　泰　義	(公財)広島平和文化センター理事長
	野　坂　文　雄	㈱もみじ銀行会長
	畑　矢　健　治	㈱中国放送社長
	福　島　真　平	広島テレビ放送㈱相談役
	ヘルベルト・ピッヒラー	駐日オーストリア大使館公使
	松　本　茂太郎	福山瓦斯㈱社長
	箕　輪　幸　人	㈱テレビ新広島社長
	吉　中　康　麿	安田女子大学非常勤講師
監　事	福　森　千　岳	㈱新日放社長
	渡　部　伸　夫	中国電力㈱副社長

運営委員

役　名	氏　名	現　職
委　員	阿　部　秀　造	㈱阿部洋酒店社長
	宇　田　　均	元㈱広自センター社長
	内　海　輝　雄	オフィスU代表
	亀　野　幸一郎	(公財)ひろしま国際センター交流部長(兼)総務課長
	隈　元　泰　治	㈱もみじ銀行　経営管理部部長
	小　坂　哲　也	広島国際大学教授
	上　口　雅　彦	(公財)広島平和文化センター国際交流・協力担当部長
	田　中　勝　邦	広島カナダ協会・広島県日韓親善協会理事
	中　本　圭　二	マツダ(株) 総務部総務コミニュティグループマネージャー

特別役員

役　名	氏　名	現　職
特別顧問	フーベルト・ハイッス	駐日オーストリア大使
名誉会長	篠　原　康次郎	
	橋　本　宗　利	㈱広島ホームテレビ参与
顧　問	川　野　祐　二	エリザベト音楽大学学長
	岸　田　文　雄	衆議院議員
	湯　﨑　英　彦	広島県知事
	深　山　英　樹	広島商工会議所連合会会頭
	松　井　一　實	広島市長

講演会・ビアホールの会

■ 日　時　平成29年8月25日(金)　18:00～20:00
■ 場　所　シェラトングランドホテル広島
■ 出席者　94人

講演は、広島大学　副学長の丸山恭司氏。ウィーン出身の言語哲学者ウィトゲンシュタインと1920年代のウィーンについてお話ししていただいた。又引き続き行われた懇親会では、寺本 隆 、寺本 采可ご夫妻による、ウクレレとピアノの生演奏で会場を魅了した。

クリスマス例会

■ 日　時　平成29年12月8日(金)18:00～20:00
■ 場　所　リーガロイヤルホテル広島
■ 出席者　130人
■ 来　賓　グレーゴル・チェルス　全権公使

乾杯の挨拶では、チェルス公使が、両国のすばらしい関係を個々の関係から、国際レベルの交流に至るまで、様々な分野でさらに構築していきたいと挨拶。この後、旭爪姉妹によるピアノとヴァイオリンによるヨーロッパ音楽の調べ、さらには恒例のクリスマスプレゼントの抽選会と会場は一つになり大いに盛り上がった。又、最後に広島ホームテレビの女性アナウンサーから、マスコットキャラクターのぽるぽるダンスが披露され、訪れた会員たちは大いにクリスマス気分を満喫した。

ケーキと音楽を楽しむ会

■ 日　時　平成30年3月3日(土)14:00～15:30
■ 場　所　ホテルチューリッヒ東方2001
■ 出席者　38人

今回は当協会顧問の岸田文雄 自民党政調会長もご出席いただき、ピアノとヴォーカルによる、軽やかなヨーロッパ音楽の調べが流れる中、ザッハトルテを代表とするオーストリア縁のケーキや焼き菓子などが参加者に振舞われた。

又、パティシエによるケーキ作りの実演も披露され、出席者を楽しませた。

トピックス

グレーゴル・チェルス公使が広島・宮島散策

■ 日　時　平成29年12月9日（土）

クリスマス例会に出席された翌日、グレーゴル・チェルス公使が宮島を訪問されました。９月に着任されたばかりの公使は、日本の観光地を訪ねるのは初めてとあって、厳島神社や大鳥居の歴史の説明に興味深く熱心に聞き入っておられました。又、回廊の鮮やかな朱色に関心を寄せられ、「夕日の色合いによく似ている。」と発言され、その感性のするどさにプロのガイドさんを驚かせていました。又、刺身に代表される和食が大好物とあって、岩惣さんで出された穴子飯にも大変満足そうでした。

会員寄稿

設立30周年を祝って

広島オーストリア協会 副会長　光井　安子

八年半ウイーンで音楽を学び、活動を始めた私にとりまして、オーストリアは第二の故郷です。同じようにウイーンの音楽大学を最優秀で卒業された小坂哲也先生も、同じお考えと思いました。

今から32年前、音楽仲間と一緒に小坂先生を副会長とし、本当に細やかに広島オーストリア友好協会を設立したのが始まりです。当時の顧問に岸田文武先生をお迎えし、お断りを覚悟でオーストリア大使館にご支援のお願いを心臓をパクパクさせながら上がりましたことを昨日のように思います。二等書記官のZimmerman氏が快く話を聞くのみならず、ご支援をお約束くださいましたことを、今でも感謝の念で当時を忘れることはございません。後に篠原会長の多大なご理解のもとに、広島総合銀行が広島オーストリア協会を引き受けてくださり、名実ともに両国の懸け橋となりました。そのことを関係者一同大変喜んでいます。

初めての総会に、のちのオーストリア大使、EU大使になられたSchweisgut氏、（当時公使）ご夫妻がお越しくださり、友人のウイーン国立歌劇場歌手OlgaWarlaさんにお祝いの歌を歌って下さいました。

篠原会長のあと、二代目の会長に広島ホームテレビ橋本会長がお引き受けくださいました。数多くの親善旅行を通し、音楽文化のみならず風光明媚なオーストリアを多くの方々が楽しまれたと存じます。貞子の千羽鶴の話に感銘を受けたウイーン市十六区に被爆の石が贈られたことをきっかけに、様々な平和文化交流が両市の間に行われています。これも、会員の方々の多大なご尽力の賜物と存じます。

現在広島オーストリア協会第三代 大辻会長のもとに、両国が親善交流をさらに進化、深化させていますことを、大変うれしく拝読しています。

お菓子の食、音楽、絵画、平和と様々な分野で共通点の多い二国間です。これからも親善交流を通しまして友好の懸け橋となりますよう、広島オーストリア協会益々のご発展を、心より祈念しています。

第29回総会懇親会で挨拶する光井副会長
2017年5月

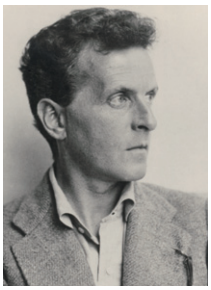
ウィトゲンシュタイン家の人々と1920年代のウィーン

広島大学副学長　大学院教育学研究科教授　丸山　恭司

四枚の写真

四枚の写真があります。どなたの写真かお分かりになりますか。いずれの写真も19世紀から20世紀にかけてウィーンに住んだ人々のものです。父親とその子どもたちであり、ウィトゲンシュタイン家の人々です。

口ひげの男性が父親で、名はカール・ウィトゲンシュタイン。鉄鋼王として知られた大富豪です。娘マルガレーテの絵はクリムトによって描かれました。ピアノに向かうのは息子のパウロ。戦争で右手を失った後は左手のピアニストとして活躍します。末っ子のルートウィッヒは、TIME誌によって「20世紀で最も重要な100人」の一人に選ばれた哲学者です。オーストリアからは、他にヒットラーとフロイトが100人のなかに選ばれています。



ウィーンのウィトゲンシュタイン家

父カールは一代で財をなした企業家でした。加えて、ウィーン分離派（ゼツェシオン）会館の建設に資金援助をし、邸宅に音楽家らを招いては私的な音楽会を開く、芸術家のパトロンでもありました。

カールは4人の女の子と5人の男の子に恵まれます。最高の文化環境で育った子どもたちはいずれも類い希な音楽の才能をさらに伸ばすことができました。しかし、年長男子3人はいずれも自殺してしまいます。長女ヘルミーネは家から出ることなく家族を支え、三女のマルガレーテは米国人の資産家と結婚して、外交界で活躍しました。四男パウロは著名な作曲家に左手のためのピアノ曲を高額で依頼し、プロのピアニストとして成功します。五男ルートウィッヒは遺産をすべて放棄してケンブリッジ大学で哲学の教授となります。

ウィトゲンシュタイン家は二つの世界大戦により、その力を失いました。ユダヤ人家系であると認定された後、娘たちはその資産を守るために闘いますが、ウィトゲンシュタイン家の運命は帝国（そして共和国）の都ウィーンの衰退とともにありました。

1920年代のウィーン

1920年代は、とりわけヨーロッパにおいて政治的にも文化的に大変興味深い時代です。第一次世界大戦と第二次世界大戦の間、いわゆる戦間期であり、新しい時代を迎えた高揚感と、民主主義と共産主義とファシズムの間の新たな対立に懸念と不安感が漂い始める時代です。交通と通信の発達による国際化が進み、ベルリン、パリ、ロンドン、ウィーンといったヨーロッパの主要都市において、また、ニューヨーク、東京、上海等においても大衆文化が台頭するエネルギーに満ちた時代でもありました。

とりわけ1920年代のウィーンは、伝統文化と革新文化が入り乱れる新時代の実験場であったと言えるでしょう。大戦に破れ、ハプスブルク王朝が崩壊し、社会民主党が政権を握ります。いわゆる「赤いウィーン」の時代です。巨大帝国は弱小共和国に縮小され、市民の生活が困窮を極めるなか、労働者のための住空間を改善

すべくカール・マルクス・ホーフ等の集合住宅が建設され、ウィーン大学の科学者らが社会改革をも標榜する思想運動を興し（ウィーン学団の統一科学運動）、元学校教師の教育行政官オットー・グレッケルが進めた学校改革によって、ウィーンは新教育の中心地として世界中から視察団を迎えることになるのです。

ルートウィッヒの1920年代

第一次世界大戦に志願兵として従軍したルートウィッヒは、イタリアで捕虜生活を過ごした後、『論理哲学論考』を出版します。この本によって哲学の問題はすべて解消したと考えたルートウィッヒは、グレッケルの指導下にあったウィーン市教員養成学校に通い、希望して山間部の学校に赴任します。しかしながら、体罰事件を起こして退職、姉マルガレーテは弟に何か専念できることをとの思いから居宅の建設を任せて、現代様式の邸宅が建ちました。ルートウィッヒは、この間、ウィーン学団の科学者らと交流するとともに、哲学の問題がいまだ残されていることに気づき、ケンブリッジにて哲学を再開します。彼のその後の哲学は子どもの言語学習を事例として用いるユニークなものとなります。

1920年代ウィーンを考えることの意味

第一次世界大戦を反省したはずのウィーンが第二次世界大戦によってほとんど破壊されてしまいます。私たちがその「失敗した反省」から学ぶべき点はいくつもあるでしょう。ウィーンにおいて特異な位置づけにあったウィトゲンシュタイン家の人々が1920年代をいかに生きたのかを問うことを通して、その学ぶべき点がいくつも浮かび上がってくるのです。

講演中の丸山氏（2017年8月）

広島オーストリア協会設立30周年の歩み

昭和63年(1988年)６月、広島の音楽関係者を中心にオーストリアの文化を学び、国際平和都市広島との友好を深めようと「広島オーストリア友好協会」が結成された。平成元年(1989年)が日本とオーストリアとの就航通商航海条約が締結されて120年を迎える年であり、またグローバルな相互交流を図る目的で組織拡大の話があったため、広島総合銀行(現もみじ銀行)に事務所を置く新しい協会の設立に至った。その後、広島ホームテレビに事務局が引き継がれている。

会報誌創刊号表紙
(平成元年9月1日発行)

発会式と設立総会で挨拶する篠原会長
(平成元年4月25日)

創刊号 内容抜粋

設立総会では、発起人の竹下虎之助広島県知事、荒木武広島市長、橋口広島県商工会議所会頭、古田徳昌マツダ社長らが出席。会長に篠原康次郎広島総合銀行頭取、副会長に浅野敬司マツダ専務、光井安子エリザベト音楽大学助教授を選び、事業計画や予算案を原案通り承認しました。

第1回クリスマス例会
(広島総合銀行10階ホールにて)

第3回ビアホールの会
(アサヒビアケラー広島にて)

第12回ビアホールの会
(坂町のマリーナ広島では会員がジルバに興じた)

在広島オーストリア名誉領事館

- **平成5年(1993年)2月　大阪・札幌・に次いで3番目の領事館として広島総合銀行に開設される。**
  初代名誉領事　篠原康次郎
- **平成14年(2002年)6月広島ホームテレビに移管される。**
  二代目名誉領事　橋本宗利
- **平成24年(2012年)6月1日より**
  三代目名誉領事　大辻　茂

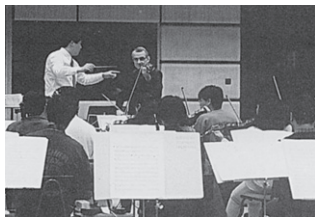
過去のおもな歩み

- **広島交響楽団のウィーン・プラハ公演(平成３年10月)**

市民ぐるみの募金による民間主導の“草の根”国際交流活動として大きな成果をあげた。広島オーストリア協会も組織をあげてこの公演に協力した。

広島総合銀行主催の「花のニューイヤーコンサート」で、
会場ロビーに設置された募金箱

広島空港での壮行式



ウィーンフィルの首席コンサートマスターであるゲアハルト・ヘッツェル氏との音あわせ(オーストリアセンター)

国連デー・レセプションで
ワルトハイム・オーストリア大統領と
歓談する篠原会長

85人のベストメンバーで、ドボルザークの「新世界」を熱演する
広響（ウィーン公演）

●オーストリア親善訪問の旅（平成17年９月）

橋本会長を団長とする28名の親善大訪問団がウィーンを中心にミュンヘン、ブラスチラバなど近隣諸国の都市を訪問。ウィーンでは現地の墺日協会と友好提携の調印を行った。

参加者全員の記念写真

友好提携の調印を行う 橋本会長と
カドレチェック墺日協会会長
（ウィーン・エロイカホール）

●ウィーンでの「平和モニュメント」除幕式
（平成21年９月）

広島市役所に保存されている「被爆石」をもとに平和モニュメントを構築し、これをウイーン第16区役所に恒久的に設置するプロジェクトを実施する。

式典にはウィーン市長・田中日本大使を始めとして市民約400人が参加した。

式典で挨拶する
ミヒャエル・ホイペール ウィーン市長

広島の被爆石で建立した
平和モニュメント

●ウィーン「ジャパンデー」に毎年多くの会員が参加

「平和モニュメント設置」を記念して、ウィーン市１６区役所が中心になって毎年９月に開かれるようになった「ジャパンデー」に、毎年多くの協会員が参加、恒例の着物ショーが人気を博している。平成２５年の第４回「ジャパンデー」には大辻会長も参加した。

編集後記

平成30年度の総会が私の最後の仕事となります。事務局長を担当して７年、私にとって一番の財産は、この仕事を通じて多くの会員の皆様と知り合いになれた事です。オーストリアを愛し、音楽を愛し、ワインを愛し、この会を通じて、皆様と共にたくさんの事を学ばせて頂きました。本当にありがとうございます。幼少のころから、姉の影響でウイーン少年合唱団を知り、ヨハンシュトラウスの「美しき青きドナウ」の美しい調べに魅せられていた私が、テレビ局の仕事とは関係のない所でオーストリアに縁をいただけたのは本当に感謝の気持ちでいっぱいです。来年は日本とオーストリアの間で修好通商航海条約が締結されてから150周年の節目の年を迎えます。この会がこれからの両国の結びつきに益々貢献できることを願いつつ、これからは一会員として応援していきたいと思います。

（事務局　野崎賢治　記）